

11月11日~17日 税を考える週間

市では、市民の皆さんが安心して暮らしていくために、さまざまな事業を行っています。その事業を行う上で、最も重要な財源が市税です。この機会に皆さんも、身近な税について考えてみましょう。

○お問い合わせ
税務課税制係
☎22-7422

市の収入の主な3つの財源

—自主財源—

01 市税など
市民の皆さんが納める

—依存財源—

02 国・県支出金 国・県から市の仕事に対して支出される
03 地方交付税 国税の一部から市町村に配分される

市税は重要な財源です

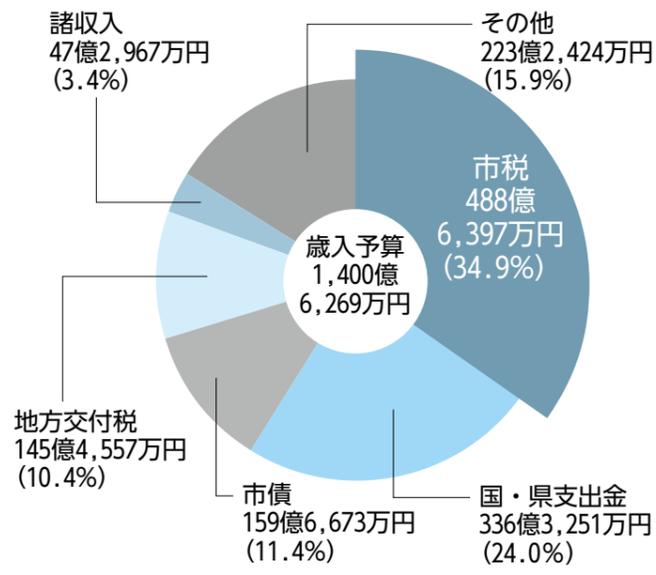
市の本年度の当初歳入予算は約1,401億円、そのうち市税は約489億円となり、予算全体の34.9%を占める最も重要な財源です（表1）。

これらの収入は、福祉・教育の充実や道路・公園の整備、ごみ処理、消防など、さまざまな行政サービスの費用に充てられています。

健康で文化的な生活を送ることが出来る社会を築くため、納税への理解をお願いします。



〈表1〉市の収入
一般会計当初予算 1,400億6,269万円



令和3年度「中学生・高校生の税に親しむキャッチフレーズ」最優秀賞

- ささえよう いわきの未来 納税で
中学生の部 伊藤夏姫さん（上遠野中）
- 納税で 切り開く未来 僕たちの手で
高校生の部 織田尋夢さん（勿来工業高）

特別職の紹介



肉田新市長が初登庁

任期満了に伴い九月五日に行われた、いわき市長選挙で初当選した肉田広之市長は、九月二十八日、市民の皆さんや市職員などが多数出迎える中、初登庁しました。

就任式で訓示

初登庁に引き続き、就任式に臨んだ肉田市長は、次長職以上の職員および支所長の前に初訓示しました。「前市長の思いをしっかりと受け継ぎながら、市政



出迎えを受け、初登庁する肉田市長

運営の先頭に立って、本市のために尽くしてまいります。新型コロナウイルスへの対応としては、第六波に向けた万全の備えをしていく時期であります。経済の緩やかなアクセラレーションと感染拡大



幹部職員を前に訓示

また、若者の人口流出や医師不足、防災体制、農林水産業の担い手不足などの中長期的な課題には、国や県、大学なども連携しな

市議会10月臨時会を開催

いわき市議会10月臨時会が10月7日に開催されました。今回の議会では、9月17日に行われた専決処分承認の承認を求めることについてなど4議案が審議され、いずれも承認・同意されました。

○主な議案

- ▶専決処分の承認を求めることについて
 - ・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保に要する経費＝3億130万3千円
- ▶副市長選任の同意を求めることについて
 - ・下山田松人（元市市民協働部長）
- ▶監査委員選任の同意を求めることについて
 - ・増子裕昭（元市議会事務局長）

から、まちづくりや拠点づくりを進めてまいります。全ての行政のベースは『人づくり』にあり、各分野を支える人の力を伸ばせば無限大の力を発揮できます。「人づくり日本」のまちを目指して、本市改革のエンジンとなる皆さんと一緒に、これからの本市の未来を創り上げてまいります。ご協力をお願いいたします。

肉田市長の略歴

昭和四十七年三月二十五日生まれ。四十九歳。東北大学教育学部卒。東京大学大学院教育学研究科修了。平成八年に文部省（現在の文部科学省）に入省後、秋田県教育庁高校教育課長、文部科学省教育政策推進室長、福島大学理事・事務局長などを歴任。